

卒前集中講義

責任者	氏名	伊藤 敬	内線	7037
	教室	生化学	e-mail	tito@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日の午前中		

対象年次・学期	6年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	臨床総括講義8.5単位の一部
英語名	Pre-graduate intensive course		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい： これまでの講義や実習で修得してきた医学的知識や思考力、判断力を整理・統合し、より実践に即した臨床的アプローチができるように、それぞれの臨床テーマについて各科横断的に講義を行う。

方法： あらかじめ実施したアンケートにおいて学生の希望が多かった疾患や症候について、関連する診療科が協力・分担して講義する。

到達目標： 症候から診断・治療へのアプローチができる。一つの疾患を例えば内科的・外科的観点など異なった視点から考察することができる。診療科間の連携の有用性を理解できる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

次ページ予定表のとおり。

3. 教科書、参考書等

書名	著者	出版社	定価
担当各科が提示する			

4. 成績評価の方法・基準

授業への参加状況など総合的に合格を判定する。臨床総括講義の単位に含まれる。

5. 教員名

次ページ予定表のとおり

6. 備考（準備学習等）

講義テーマに関連する項目について、これまで学習した各論の教科書や実習ノートを復習し、疑問点等を整理しておくこと。

卒前集中講義 (6年前期)

月	日	曜日	校時	授業項目	担当講座等	担当教員	教室
6	27	月	1	リウマチ性疾患・変形性関節症/化膿性	内科1、整形外科	○川上 純、尾崎 誠	第3
			2	関節炎			
			3	産業保健	公衆衛生	青柳 潔	
			4	老人保健	公衆衛生	青柳 潔	
6	28	火	1	排尿機能と排尿障害	泌尿器科	酒井英樹	第3
			2	月経異常、正常異常妊娠	産婦人科	増崎英明	
			3	心エコー	循環器内科	前村浩二	
			4	脳腫瘍	脳神経外科	松尾孝之	
6	29	水	1	心電図の読み方	循環器内科	前村浩二	第3
			2	胸痛	循環器内科、内科2	○前村浩二、河野 茂	
			3	運動麻痺・筋力低下	整形外科、脳外科、 感染分子(脳神経系)	○尾崎 誠、永田 泉、中村龍文	
			4				
6	30	木	1	眼底所見(糖尿病を含む)	眼科	北岡 隆	第3
			2	失神	総合診療科	大園 恵幸	
			3	消化管癌および炎症性腸疾患	消化器内科	竹島史直	
			4	不整脈	循環器内科	前村浩二	
7	1	金	1	先天性疾患と遺伝性疾患	小児科、産婦人科	○森内浩幸、増崎英明	第3
			2				
			3	救急蘇生、小児救急	麻酔科、小児科	○澄川耕二、森内浩幸	
			4				
7	4	月	1	肝臓・肝移植	外科2	江口 晋	第3
			2	糖尿病の治療	内科1	山崎浩則	
			3	統合失調症と双極性障害	精神神経科	小澤寛樹	
			4	神経疾患の診断と治療	内科1	本村政勝	
7	5	火	1	膠原病-血管炎症候群を中心として 膠原病の皮膚病変	内科1、皮膚科	○川上 純、宇谷厚志	第3
			2				
			3	呼吸困難	循環器内科、耳鼻 科、内科2	○前村浩二、高橋晴 雄、河野 茂	
			4				
7	6	水	1	肺癌・肺移植	外科1	永安 武	第3
			2	腎不全・蛋白尿	内科2	西野 友哉	
			3	感染症の診断と治療	内科2、熱研内科	○河野 茂、有吉紅也	
			4				
7	7	木	1	胸部X線写真の見方	放射線科	上谷雅孝	第3
			2	腹部CT、MRIの読影			
			3	腹痛	外科1	安武 亨	
			4	めまい	耳鼻科、脳外科	○高橋晴雄、陶山一彦	
7	12	火	1	救急の輸液管理、ショック、電解質異 常	麻酔科、内科2	○澄川耕二、西野友哉	第3
			2				
			3	小児に特徴的な common diseases	小児科	森内浩幸	
			4	先天性心疾患	心臓血管外科	江石清行	
7	13	水	1	創傷外科と慢性創傷、再生医療	形成外科	平野明喜	第3
			2	肺癌および鑑別を要する疾患	内科2	中村洋一	
			3	貧血	原研内科	塚崎邦弘	
			4	白血病	原研内科	宮崎泰司、波多智子	
7	14	木	1	検査値の見方	臨床検査	○上平 憲、長井一浩	第3
			2	輸血医療			
			3	肝炎、肝硬変	消化器内科	中尾一彦	

○はオーガナイザー

高次臨床実習

責任者	氏名	大園 恵幸	内線	7591
	教室	総合診療学	e-mail	oozono@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	17:30～18:30		

対象年次・学期	6年・前期	講義形態	実習
必修・選択	必修	単位数	18単位
英語名	Clinical Clerkship II (Elective Clerkship courses)		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

学生が診療チームに参加し、その一員として診療業務を分担しながら医師の職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な部分を学ぶことを主旨とする。5年次の臨床実習と比較し、より診療参加型の実習となる。

以下の診療科より3科を選択し、1ターム4週間の実習を3ターム行なう。

第1内科（神経、内分泌・代謝、リウマチ・膠原病）、第2内科（呼吸器、腎臓）、循環器内科、消化器内科、原研内科、熟研内科、総合診療科、離島・地域医療（五島中央病院・上五島病院、中対馬病院、対馬いずはら病院）、精神神経科、小児科、第1外科、第2外科、整形外科、皮膚科・アレルギー科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、産科婦人科、麻酔科、救急部、脳神経外科、形成外科、心臓血管外科、法医学、病理部、ライデン大学、ビュルツブルグ大学、プサン大学、ハーリム大学、市民病院、原爆病院、済生会病院

2. 授業内容（講義・実習項目）

選択科により異なる。高次臨床実習要項を参照。

3. 教科書、参考書等

適宜。

4. 成績評価の方法・基準

各タームで、出席状況、実習状況等を総合し、評価表に基づいて評価する。3ターム全ての合格を以て高次臨床実習の合格とする。

5. 教員名

高次臨床実習要項を参照。

国際医療英語

責任者	氏名	伊藤 敬	内線	7037
	教室	生化学	e-mail	tito@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日午後1時～午後5時		

対象年次・学期	1～6年 前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	選択	単位数	前期1単位、後期1単位
英語名	English for Medicine		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

国際的な場における医療現場で活躍できる英語力を養う。医療現場に必要な語句の理解を深めるとともに医療に関わるトピックを精選し、その理解を深める。題材に関しては、医療関連の雑誌や新聞記事から精選し、速読と精読のバランスを意識した授業を行う。

今年は、特に英語力の養成に焦点をあて、TOEIC600前後の力を最低つけることを目標とし、そのレベルのテキストを利用して授業を行なう。また、医学に関する基本的な英語表現や語彙を身につけてもらう。

2. 授業内容（講義・実習項目）

授業では、演習的要素を取り入れ、日本語を英語らしい表現で書けたり言えたりできるように訓練する。また、リスニングの訓練も併せて行う。リーディングに関しては、TOEIC形式の問題にたくさん挑戦してもらう。

3. 教科書、参考書等

前期の小笠原の授業で使用するテキストは、以下の2冊です。

1. *Step-by-Step Prep for the TOEIC TEST Advanced Course* (アルク 2,000円)
2. *メディカル英語小事典 (第2版)* (英光社 1100円)

テキストは、1回目の授業の時に、講師が持参するので、その場で購入してもらいます。1回目から、早速上の2冊のテキストを利用して、授業を始めます。

4. 成績評価の方法・基準

テストとレポート、授業中のアクティビティ、出席、プレゼンテーション等を総合的に評価する。
(なお、定期試験の評価の割合は70%です)

5. 教員名

非常勤 : 小笠原 真司 (大学教育機能開発センター)

6. 備考（準備学習等）

定員20名、AO入試国際枠学生を優先する。

TOEIC 600を目指す学生が受講してください。

出席が悪い学生は、お断りです。遅刻もお断りです。

授業計画は「1年次」参照。

国際医療英語

責任者	氏名	伊藤 敬	内線	7037
	教室	生化学	e-mail	tito@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日午後1時～午後5時		

対象年次・学期	1～6年 後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	選択	単位数	前期1単位、後期1単位
英語名	English for Medicine		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

国際的な場における医療現場で活躍できる英語力を養う。医療現場に必要な語句の理解を深めるとともに医療に関わるトピックを精選し、その理解を深める。題材に関しては、医療関連の雑誌や新聞記事から精選し、速読を意識した授業を行う。また、日本語と英語の表現方法の違いを学習する。特に学生が犯しやすい誤りとして、文法的な誤りの他、コロケーション(連語)の間違いや日英発想の違いによる誤り等も視野に入れて講義を行う。

この授業を通して、英語の論の展開の仕方、さらには、英語を母語とする話者の直感に触れることで、英語の知識を深めていただきたい。

2. 授業内容(講義・実習項目)

授業では、演習的要素も取り入れ、リスニング、及び、スピーキングスキルの訓練を行う。また、医学に関わる英文記事を読み、短時間にまとめて英語で発表する訓練を併せて行う。

3. 教科書、参考書等

いろいろなジャーナルの論文を選ぶ予定である。その他、適宜、指示する。
プリント教材とテキストを利用する。

4. 成績評価の方法・基準

テストと課題、授業中のアクティビティ、出席、プレゼンテーション等を総合的に評価する。
テスト(70%)、課題・プレゼンテーション(20%)、授業への積極的参加(10%)

5. 教員名

非常勤 : 西原 俊明 (大学教育機能開発センター)

6. 備考(準備学習等)

定員20名、A0入試国際枠学生を優先する。

積極的に、そして真面目に授業に出ること。演習形式なので、出席を重視する。

授業計画は「1年次」参照。

(教室名：法医学) アドバンストリサーチセミナー (6年次)

責任者	氏名	中園一郎	内線	7076
	教室	法医学	e-mail	k-ikema@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	木曜16:30-17:30		

対象年次・学期	6年次	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修(研究医コース)	単位数	1単位
英語名	Advanced research seminar		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

法医学部検症例について検討(法医学部検診断)を行う。さらに、現在の検査手法には生前の病態解明・剖検診断法に限界があること、つまり、新たな剖検診断法が法医学に必須であることを理解する。各人が興味を抱いた症例に関して問題点を整理し、新規の法医学診断法の確立をめざして、問題解決のための研究テーマを立案し、実験を実施する。得られたデータについて参考文献をもとに解釈し、学会発表・論文作成を行う。

2. 授業内容(講義・実習項目)

症例検討会にて発表を行い、問題点を整理し、問題解決のための研究テーマを立案する。
研究テーマに基づいて研究計画を立案し、実験を遂行する。
得られたデータについて意義を解釈し、実験成果についてプレゼンテーションを行う。

3. 教科書、参考書等

症例、研究テーマにそった学術論文、テキストを適時配布する。
各人が参考文献を検索することが望ましい

4. 成績評価の方法・基準

症例発表(20%)、研究ノート(50%)、最終プレゼンテーション(30%)で評価する。

5. 教員名

中園一郎、池松和哉(長崎大学)
久保真一(福岡大学)、神田芳郎(久留米大学)

6. 備考(準備学習等)

金曜日の5校時以外の時間の研究参加も必要。
可能な限り法医学実務へ参加して下さい。

アドバンストリサーチセミナー授業予定（6年前期）

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
4	1	金	5	ガイダンス	法医学概論	中園一郎	大学院 セミナー 室
4	8	金	5	実習	実験遂行	池松和哉	大学院 セミナー 室
4	15	金	5	実習	実験遂行	池松和哉	大学院 セミナー 室
4	22	金	5	実習	実験遂行	池松和哉	大学院 セミナー 室
5	6	金	5	実習	実験遂行	池松和哉	大学院 セミナー 室
5	13	金	5	実習	実験遂行	池松和哉	大学院 セミナー 室
5	20	金	5	実習	実験遂行	池松和哉	大学院 セミナー 室
5	27	金	5	実習	実験遂行	池松和哉	大学院 セミナー 室
6	3	金	5	実習	実験遂行	池松和哉	大学院 セミナー 室
6	10	金	5	カンファランス	結果の整理	久保真一	大学院 セミナー 室
6	17	金	5	カンファランス	結果の整理	神田芳郎	大学院 セミナー 室
6	24	金	5	カンファランス	結果の整理	池松和哉	大学院 セミナー 室
7	1	金	5	カンファランス	結果の整理	池松和哉	大学院 セミナー 室
7	8	金	5	カンファランス	結果の整理	中園一郎、 池松和哉	大学院 セミナー 室
7	15	金	5	カンファランス	研究発表	中園一郎、 池松和哉	大学院 セミナー 室